

診療実績

(集計期間：令和3年1月1日～12月31日)

	内容	件数
ア	院内がん登録数 計上方法：入院、外来は問わない自施設初回治療分。	268 件
イ	悪性腫瘍の手術件数 計上方法：医科診療報酬点数表第2章第10部に掲げる悪性腫瘍手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認された場合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。	128 件
ウ	がんに係る薬物療法のべ患者数 計上方法：経口または静注による全身投与を対象とする。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数については1レジメンあたりを1人として計上する。	357 件
エ	放射線治療のべ患者数 計上方法：医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療に含まれるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人として計上する。	1844 件
オ	緩和ケアチームの新規介入患者数 計上方法：患者数については同一入院期間内であれば複数回介入しても1人として計上する。	170 件
カ	当該がん医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合 (%) 集計方法：この場合の診療実績は、各施設の年間新入院がん患者数のうち当該二次医療圏に居住している者を分子とし、患者調査の「病院の推計退院患者数(患者住所地もしくは施設住所地)、2次医療圏×傷病分類」の当該2次医療圏の悪性新生物の数値を1.2倍したものを分母とする。分子の数値はがん診療連携拠点病院現況報告の数値を用い、分母の数値には原則として者調査の最新公開情報を用いること。	24%
キ	手術等の状況 大腸がん (C18\$, C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2) の手術件数 開腹手術 K7193、K739\$, K740\$ 2件 腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$ 7件 内視鏡手術 K721\$, K721-4、K739-2、K739-3 5件 肺がん (C34\$, D02.2) の手術件数 開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$ 2件 胸腔鏡下手術 K514-2\$ 17件 胃がん (C16\$, D00.2) の手術件数 開腹手術 K654-2、K6552、K655-42、K6572 0件 腹腔鏡下手術 K654-3\$, K655-22、K655-52、K657-22 0件 内視鏡手術 粘膜切除術 (EMR) K6531 2件 内視鏡手術 粘膜下層剥離術 (ESD) K6532 0件 乳がん (C50\$, D05\$) の手術件数 手術 K476\$ 7件 乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2 0件 乳腺腫瘍摘出術 (生検) K474\$ 1件 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3\$ 0件 乳房再建術 (乳房切除後) 二次的に行うもの K476-32 0件 前立腺がん (C61) の手術件数 開腹手術 K843 0件 腹腔鏡下手術 K843-2、K843-3、K843-4 0件	

	<p>肝臓がん (C22\$, D01.5) の手術件数</p> <p>開腹手術 K695\$ 1件</p> <p>腹腔鏡下手術 K695-2\$ 0件</p> <p>マイクロ波凝固法 K697-2\$ 0件</p> <p>ラジオ波焼灼療法 K697-3\$ 0件</p> <p>胆のうがん (C23) の手術件数</p> <p>開腹手術 K675\$ 0件</p> <p>腹腔鏡下手術 K675-2 0件</p> <p>胆管がん (C240、C241、C248、C249) の手術件数</p> <p>開腹手術 K677、K677-2 0件</p> <p>膵臓がん (C250、C251、C252、C253、C254、C257、C258、C259) の手術件数</p> <p>開腹手術 K700-2、K702\$, K703\$, K704 1件</p> <p>腹腔鏡下手術 K700-3、K702-2\$, K703-2\$ 0件</p>	
ク	<p>放射線治療の状況</p> <p>全てのがんを対象としたのべ患者数</p> <p>体外照射 109人</p> <p>定位照射 (脳) 0人</p> <p>定位照射 (体幹部) 12人</p> <p>強度変調放射線治療 (IMRT) 18人</p> <p>粒子線治療 (重粒子線、陽子線治療) 0人</p> <p>密封小線源治療 0人</p> <p>核医学治療 0人</p> <p>我が国に多いがんを対象としたのべ患者数 (原発巣)</p> <p>肺がん 18人</p> <p>胃がん 0人</p> <p>肝がん 9人</p> <p>大腸がん 5人</p> <p>胆のう・胆管がん 1人</p> <p>膵臓がん 1人</p> <p>乳がん 19人</p> <p>前立腺がん 9人</p>	
ケ	<p>緩和ケアチームに対する新規診療症例の状況</p> <p>身体症状の緩和を行った症例数 89人</p> <p>精神症状の緩和を行った症例数 77人</p> <p>社会的苦痛に対する緩和を行った症例数 4人</p>	